

平成28年度予算の概要

**平成28年度市の全体予算
932億7768万円**

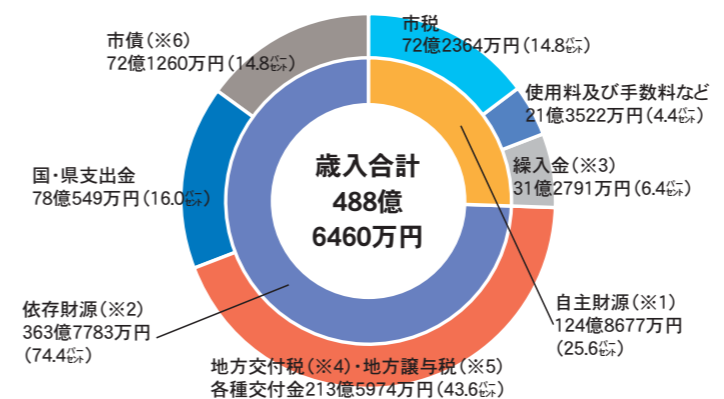
本市には、市政の基本的な施策経費である一般会計(※1)のほか、国民健康保険事業など6つの特別会計(※2)と病院事業など3つの企業会計(※3)があります。会計ごとの予算額は、左表の通りです。

会計別予算額	平成28年度予算額	全体割合
一般会計	488億6460万円	52.4%
特別会計	280億8563万円	30.1%
国民健康保険特別会計	114億1881万円	12.2%
後期高齢者医療特別会計	7億9046万円	0.9%
介護保険特別会計	91億2850万円	9.8%
土地取得特別会計	8億2013万円	0.9%
下水道事業特別会計	50億7317万円	5.4%
宅地造成事業特別会計	8億5456万円	0.9%
企業会計	163億2745万円	17.5%
水道事業会計	52億7380万円	5.7%
病院事業会計	105億6618万円	11.3%
老人保健施設事業会計	4億8747万円	0.5%
総合計	932億7768万円	100%

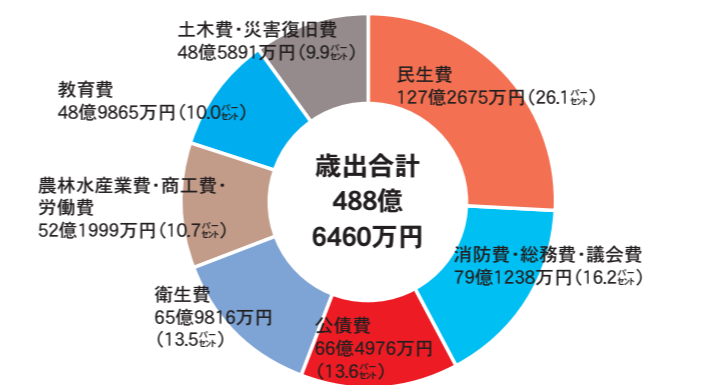
平成28年度の一般会計の予算は488億6460万円、前年度に対して27億4285万円の増となりました。

歳入は、地方交付税などの交付金が約214億円、国・県支出金が約78億円、これらを合わせると約292億円と歳入合計の約60%を占めています。依然として、国や県などへの依存度が高い状態にあります。

一般会計歳入予算



一般会計歳出予算



歳出は、子どもやお年寄り、障がい者に対する福祉の充実などに使われる民生費が、約127億円と最も多くなっています。次いで、市民を守る消防・救急などの消防費、市の管理業務である総務費、議会運営関連経費である議会費を合わせると約79億円。大規模な事業の借入金の返済経費である公債費が、約67億円と続いています。

多彩な事業に取り組みます(第二次登米市総合計画・政策の大綱別)

1 生きる力と創造力を養い 自ら学ぶ人が「そだつ」まちづくり

《平成28年度の主要な施策》

【新規】迫児童館整備事業／登米市誕生祝金支給事業／認定こども園施設整備事業／(仮称)中江こども園(仮称)登米こども園施設整備事業／保育料等多子軽減拡大事業／幼稚園授業料等多子軽減拡大事業／平成29年度全国高等学校総合体育大会(南東北インターハイ)ボート競技大会実施事業／長沼ボート場クラブハウス整備事業

【拡充】結婚活動支援事業(広域連携結婚支援事業を含む)

【継続】学校運営協議会(コミュニティ・スクール)推進事業／教育用コンピュータ更新事業／教育施設備品整備事業／新登米懐古館整備事業／総合型地域スポーツクラブ育成事業／パークゴルフ場整備事業

2 安全安心な暮らしを支える笑顔で 健康に「いきる」まちづくり

《平成28年度の主要な施策》

【新規】生活困窮者就労準備支援事業／生活支援体制整備事業(介護保険特別会計)

【継続】子ども医療費助成事業／とめ健康ウォーキング推進事業／検診事業／予防接種事業／病院事業(繰出金)／応急手当普及啓発事業／防火水槽整備事業／消防団車両等整備事業／防災情報伝達手段整備事業

3 地域資源を活かし魅力ある 元気な産業を「つくる」まちづくり

《平成28年度の主要な施策》

【新規】シティプロモーション推進事業／大学等フィールドワーク誘致促進事業／がんばる農家支援事業／地域起業家人材確保支援事業／サテライトオフィス等開設支援事業

【拡充】ビジネスチャンス支援事業

【継続】水稲直播推進事業／担い手育成支援・新規就農支援事業／担い手農地集積推進支援事業／農地中間管

理事業／畜産総合振興対策事業／園芸産地拡大事業／日本型直接支払制度(多面的機能支払事業、中山間地域等直接支払事業、環境保全型直接支払事業)／地域材需要拡大支援事業／空き店舗活用事業／三陸自動車道パーキングエリア地域活性化施設整備事業／(仮称)長沼第二工業団地整備事業／(仮称)登米インター工業団地整備事業

4 自然と生活環境が調和し 人が快適に「くらす」まちづくり

《平成28年度の主要な施策》

【新規】旧宮城県米山高等学校跡地取得事業／移住・定住促進事業／住まいサポート事業／空き家改修事業／平沼沼水質向上対策事業／住宅用新・省エネルギー設備導入支援事業／市道舗装補修事業／小型除雪機による除雪事業

【継続】一般廃棄物第二最終処分場整備事業／一般廃棄物第二処理施設((仮称)新クリーンセンター)整備事業／基幹水道構造物耐震化事業(下り松ポンプ場築造事業)(水道事業会計)／歩道のリメイク事業／道路定期点検事業／道路新設改良事業／橋りょう補修事業(橋りょう長寿命化事業)／下水道整備事業(繰出金)

5 市民と行政が「ともに」創る 協働によるまちづくり

《平成28年度の主要な施策》

【新規】議会タブレット端末導入事業／固定資産(公有財産)台帳整備事業／協働のまちづくりリーダー養成事業

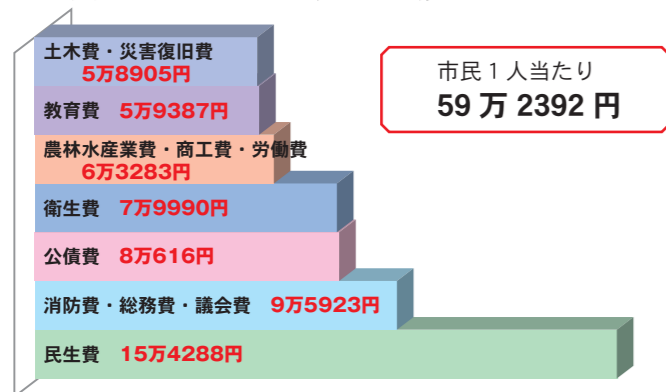
【拡充】ふるさと応援寄附金拡充事業

【継続】未来のまちづくり支援事業／コンビニエンスストア証明書発行システム導入事業

詳細な資料をご覧になりたい場合は、市ホームページ(<http://www.city.tome.miyagi.jp>)の「行政情報」→「市の財政」でお知らせしています。なお、ホームページを見ることができない人には、各総合支所窓口で資料を用意していますので、お近くの総合支所にお越しください。

【問い合わせ】企画部財政課(財政一係) ☎0220(22)2159

市民1人当たりで計算した場合



**市民1人当たり約60万円
福祉と安全・安心に注力**

平成28年度の一般会計予算額、約489億円を、市民1人当たりでどれぐらい使われるか計算したものが、左のグラフです(28年3月末の本市の人口8万2487人で計算しています)。分野別で一番大きなウエートを占めているのは民生費で、1人当たり約15万4千円。次いで消防費、総務費、議会費は約9万6千円、公債費が約8万円で続きます。

予算を一人当たりですること、本市は、子育てや介護などの福祉や市民の安全・安心に力を入れていることが見えてきます。

【会計区分の解説】

- ▼一般会計(※1) 市税、地方交付税、国・県支出金を主な財源とし、福祉、教育、建設などの市政の基本的な施策経費の会計
- ▼特別会計(※2) 国民健康保険事業や介護保険事業など特定の事業で、保険料など特定の財源で賄われ、一般会計と区別して経理する必要がある会計
- ▼企業会計(※3) 病院事業や水道事業など企業的な事業で、サービスを受ける人の料金で運営することを原則とした会計

【歳入科目の解説】

- ▼自主財源(※1) 市独自の収入。家計に例えると給料や不動産の売却収入など
- ▼依存財源(※2) 国や県の意思により定められた額を交付される。国・県支出金は家族からの援助、市債は金融機関からの借入れに当たる
- ▼繰入金(※3) 市の基金(貯金)を取り崩したものの
- ▼地方交付税(※4) 市町村が、一定水準のサービスを提供できるよう、国から交付される
- ▼地方譲与税(※5) 国が市に変わって集めた税金が配分されるもの
- ▼市債(※6) 事業をする際に借り入れるもの

【歳出科目の解説】

- ▼民生費 子どもやお年寄り、障がい者に対する福祉の充実、子育て支援など
- ▼消防費 総務費、議会費 市民を守る消防、救急や市の管理業務、議会運営など
- ▼衛生費 健康づくりや環境対策など
- ▼土木費 災害復旧費 道路や公園などの整備のほか、災害で傷んだ建物などの改修
- ▼公債費 大規模な事業に充てた借入金の返済
- ▼教育費 学校教育や生涯学習などの教育全般
- ▼農林水産業費 商工費、労働費 豊かな農林業の発展や、多彩な商工業の進展、雇用対策など